

## 京都エコ・エネルギー戦略（案）に対する主な御意見

※：事前送付版に対しいただいたご意見。ほかに2委員からの御意見については、原本を添付する。

	御意見の概要
総論	<p>○需要家自身が主導するシステムに変わっていくという視点が不十分。供給側の発想から抜け出していないのではないか。</p> <p>以下のようなイメージを含めるべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年はかなり社会が変わってくる。</li> <li>・企業も住民自身もアクターとしてコミットしていくような、デマンドレスポンスのようなシステム。</li> <li>・分散型ネットワークでの電力システム。</li> <li>・単に再エネではなくコミュニティとリンクするようなイメージ。</li> <li>・電気自動車がシステムの中に入ってくる。</li> </ul> <p>量的なイメージだけでなく社会が変わるといったイメージを示すこと。</p> <p>○2030年を書くのはいいが、当面のことに答えていないがそれでよいか。</p> <p>○2030年までという長い目で見ると、教育という視点が必要ではないか。</p> <p>○京都だけではなく、外部との連携、役割分担という視点はどうか。</p> <p>○安定供給だけでなく、安全の確保についても書いて欲しい。</p>
1 京都府内のエネルギー需給の現状と課題	<p>○エネルギー供給事業者に経営効率化・技術革新等による経済性の向上を働きかけるとあるが、府として公平性を担保しつつ、何を基準に向上させるのか。</p>
2 基本方針と目標	<p>○人口の増減や経済状況の変化もあり、省エネで見込んでいる25億 kWh は省エネだけの効果とならないのではないか。</p> <p>○エネルギー安定供給確保の見通しについては理解できる。問題はコスト。</p>
3 基本方針に基づく施策の方向	<p>○身の回りの再生可能エネルギーの地産地消を進めて欲しい。</p> <p>○エネルギーセキュリティ上の観点から、防災拠点、病院等への重要施設への天然ガスコージェネレーション施設等の導入支援や該当する府施設への導入推進を記載してはどうか。</p> <p>○「ピークカット、ピークシフト等による電力需要の平準化の推進」として、電力ピーク需要の抑制に効果的な蓄熱空調やガス空調等の導入への支援を記載してはどうか。</p> <p>○「留意事項」として書かれている部分は、対応を含めて施策の展開方向や推進施策として記載してはどうか。</p> <p>○産業界との連携について、もっと具体的に記載してはどうか。</p>

	御意見の概要
メタンハイドレート、シェールガスについて	○メタンハイドレートについては、研究を進めることはともかく、まだ将来の資源量としては見込むことはできない。研究・開発を国に働きかける程度ではないか。
戦略の推進体制について	○2030年度に向けての長期目標は述べられているが、3－5年程度の短期についてもアクションプランを策定し、実行していくことを方向性の中に盛り込んでどうか。 その際は、「短期目標及び具体的な施策」「施策の立案・推進の体制」の策定/追加記載が必要ではないか。（特に、後者については具体的に明記すべき。）
戦略策定後について	○市町村などでの前向きな取組をフォローするシステムをお願いしたい。 府から市町村への情報提供をお願いしたい。 ○策定後も市民啓発のシステムが必要。広報やシンポジウム、出前講義なども考えて欲しい。